

吉崎市自治基本条例 専門部会における全体的なご意見

<自治基本条例の具現化>

- 吉崎市自治基本条例について、具体的な取組が見えない。
- 民間で活躍している方（特に若い世代）に参加してもらうことが必要（20代から30代の若い世代が参画できる政策提言の場が必要）。
- 自治基本条例を元にこういうことをやっている、自治基本条例があるからこういうことを進めなければいけないなどといった話ができるようにしないとイケない。

<市民への周知>

- 吉崎市自治基本条例について、市民への周知が進んでいない。せっかくの良い条例であっても市民が知らないことには市民協働は進まない。まずは、市民へ本条例を知っていただくことが先決。まずは、知っていただき、その後に具現化する取り組みが必要になるのではないか。

<条文全体について>

- 「句点」や「及び、又は」などの使い方について再度確認してほしい。
- 前文の見直しについて、様々な意見が出てくる可能性がある。全てを網羅すると、長い前文となってしまう。ある程度事務局で判断していく必要がある。
- まちづくりの定義について、具体的に分かりやすく説明が必要。
- 組織の重複について、この数年間の実績を確認しながら、地域ごとに違いはあるとは思いますが、既存の組織と新しくできた組織の関係の整理が必要。
- 市長が主語になっている条項が多いが、本来の意味でいくと自治基本条例はあくまで市民が主役で、市民が地域の将来を作っていくというところが重要なので、全体的にその部分をどうするかというところを考えていく必要がある。